

エゴノキ

5月に入ると、木々の葉や草花がぐんぐん成長してエコパビオトープ全体が一面緑で覆われる爽やかな季節になります。

その中でもよく目立っているのがエゴノキです。白い小さな花を、下向きにたくさん咲かせます。

「セッケンノキ」と呼ぶ地域もあるようで、木の実は洗剤や石けんのかわりとして使うことができます。



ホトギス

ウグイス等の巣に卵を産込み、ヒナを育ててもらう「托卵」で有名なホトギス。日本に夏鳥として渡来します。ちょうど田植えの時期にやってくるので、彼らの鳴き声は農作業の目安になっていたようです。

エコパでも初夏、ビオトープの奥ではホトギスのさえずりが聞かれます。大きな声でさえずるので遠くからでもすぐにわかります。そのききなしは「特許許可局」と例えられることがあります。



トッキョキョカキョク
特許許可局!

「ききなし」
ってなに?

鳥のさえずりを、人の言葉に置き換えて覚えやすくしたものを「ききなし」と言います。ホトホホギスは「特許許可局」、有名なウグイスの「法法華経」、サンコウチョウの「月日星…」などなど。鳥の声が身近に感じますね。

さえずりを聞いてオリジナルの
ききなしを作るのも楽しそう!!

